みんなの子を〜すこやかに

少年を非行化より守り、すこやかに育てるために、ご家庭では特に次のことがらに注意をして下さい。

○子供さんが、どんな友だちと遊び、どんな映画をみて読み、どんなものをみているかをよく知っておきましょう。

○子供さんのお金づかいについて、いつも気をつけましょう。

○子供さんのまちがいを見つけたときは、子供さんによくわかるようにおしえてやりましょう。

○いざこざをなくして、つねに家庭を明るくしましょう。

○子供さんの心を傷つけるようなことをしたり、話をしたりしないようにしましょう。

○子供さんのことで、悩んでおられる方は、ご遠慮なく受持の先生や児童相談所、保護司、警察少年係などに相談しましょう。

交通事故から子供を守ろう

昨年中に県下で、起った交通事故は、一、三四一件で、この事故で死者八三名傷者一、二八一名という多くの犠牲者をだしており、そのなかで、十五才未満の子供の被害は、死者十四名傷者二百十二名で全体の十六パーセントで、一昨年の十二パーセントを上まわり次第に増加しております。これから伸びようとする大切な子供の命が、一瞬のうちに、奪われたり、生れもつかぬ不具者になることはまことに悲しいことです。警察と、交通関係者などの機会に関係の官庁、学校、団体、交通関係者などのご協力をお願いして、県下いっせいに、「交通事故から子供を守る運動」を実施することになりました。交通事故から子供を守るためには、自動車など車を運転する人の注意も大切ですが、それにまして、ご家庭の方々が、子供の道路での遊びや、幼児の一人歩き、道路への走り出し、などの危険なことをさせないよう注意するとともに、とくに新しく入学する子供につきましては、自動車のすぐ前や後を横ぎらないこと、正しい横断の仕方、踏切での通行の仕方、信号機の意味などを、わかりやすく教えてやることが大切です。

近代文化の発達するにしたがい、自動車などは、質、量ともに驚くほどの進歩発達をしましたが、その反面交通事故は、毎年に多くなってきましたので、市民の一人一人が、この運動の趣旨をよく理解され、ご協力下さるよう願います。

雨季の感電事故防止

いま頃から夏にかけて感電事故が起りやすいといわれています。

四国において感電死亡した事故の殆んどは、四〜九月の間に起きており、その原因の大部分は本人の過失や電気知識の不足からといってもよいようです。

なぜ、この期間に限ってこのように感電事故が多くなるのでしょう。

①これからは薄着になり身体を露出することが多い。

②汗ばむので電気が通りやすくなる。

③水を使う機会が多い。

④睡眠不足等のため疲労度がはげしくつい不注意勝となる。

⑤風雨のはげしい時には電線が切れたり、電柱が倒れたりすることがある。

等の理由があげられます。これからはつぎの点に特に注意いたしましょう。

○電線には絶対さわらないようにしましょう。（電線の片線にふれただけで生命にかゝわることがあります。）

○電線の近くで家や屋根などの修理作業をするときなどは特に注意しましょう。（電線がお仕事の邪魔になるときは、四国電力へご連絡ください。）

○切れた電線にはさわらぬようにいたしましょう。（やむを得ず電線を動かすときは、必ずよく乾いた竹ざをか棒でゴム手袋ゴム靴をはいて動かしましょう。）

○素人工事はやめましょう。（雨や風のため引込線がゆるんで煙突の支線や雨どいなどにさわりそうなときはすぐ四国電力へお知らせ下さい。）

○湿気に注意しましょう。ご使用中の電気コンロ、電気釜などを濡れふきんでふいたり、掴んだりしないようまた電球や笠をふくときは乾いた布を用い、水拭きするときは必ず取外していたしましょう。

○アースをとりましょう。（電気洗濯機や農事用モートル等をご使用になる方は必ずアースをとっておきましょう。）

○裸足先の杖と申します。転ばぬ先の杖と申します。注意したうえにも注意して電気事故を追放いたしましょう。

全国青年問題研究集会から

片山 浜田 勉

全国の青年千八百名が日本青年館に集まって、現在青年の置かれている立場や今后、青年が進まなければならない方向など、三泊四日間にわたって（二月二十七日〜三月一日）真剣に討議された。

この中で私たちが考えそして行動をとらなければならないと思ったことは、千葉の代表が農民の経済的要求を正しく捕え、自分たち農民の生産する農産物の価格が不安定で、いかに低価であり、購入資材（必要品）が、なぜ高いのかその根本を探る為に学習活動を起こし、そして独占的価格は金のあるなしにより、農民はますく苦しめられているのだということがはっきりわかり、それを青年団新聞を中心として報告し、地域の農民に訴え、千葉県において始めてと云われる「デモ」を開いたとのこと。

また京都の代表は町政のボス支配を排除する為に情宣部を中心として町政の封建性を住民に知らし、ねむっていた住民と青年がともに立ち町政の民主性をうちたてたとのことです。

さきの二つとも初めのうちは反動家によって言葉では表わすことの出来ない干渉や圧迫を受けたが青年として正しいことは最后までやりとうすと言う情熱と、正義心によって成果を上げたものです。

これを進めるのに情宣を通じて住民に訴えたことが有効的であったのです。

普通農民は意識が低いとか考えが遅れているとか、反動家だなんていっていますが、千葉におけるように権力に迎合していた農民が批判し、正しいことを正しく考えていくようになったとのことです。この農民も千葉のようにデモを起こしたその勇気、行動によって始めて政治的に、経済的にめざめ、人間としての生活となり、今は農民の団結と統一行動がなくして民主主義はつくれないと言っているとのことです。

南国市の青年たちも、千葉や京都の青年が闘っている社会改革運動のような、形のものをつくる為にも、全国青年の動きを正しくとらえ、団結し、統一した活動を起こし、地域の反動性をなくしようではありませんか。明るい社会を、作くるために。

投稿について

文字はわかりやすく、書き、行と行との間は、必ず一行以上あけて下さい。

マスの印刷された原稿紙は、正しい使い方をするようねがいます。

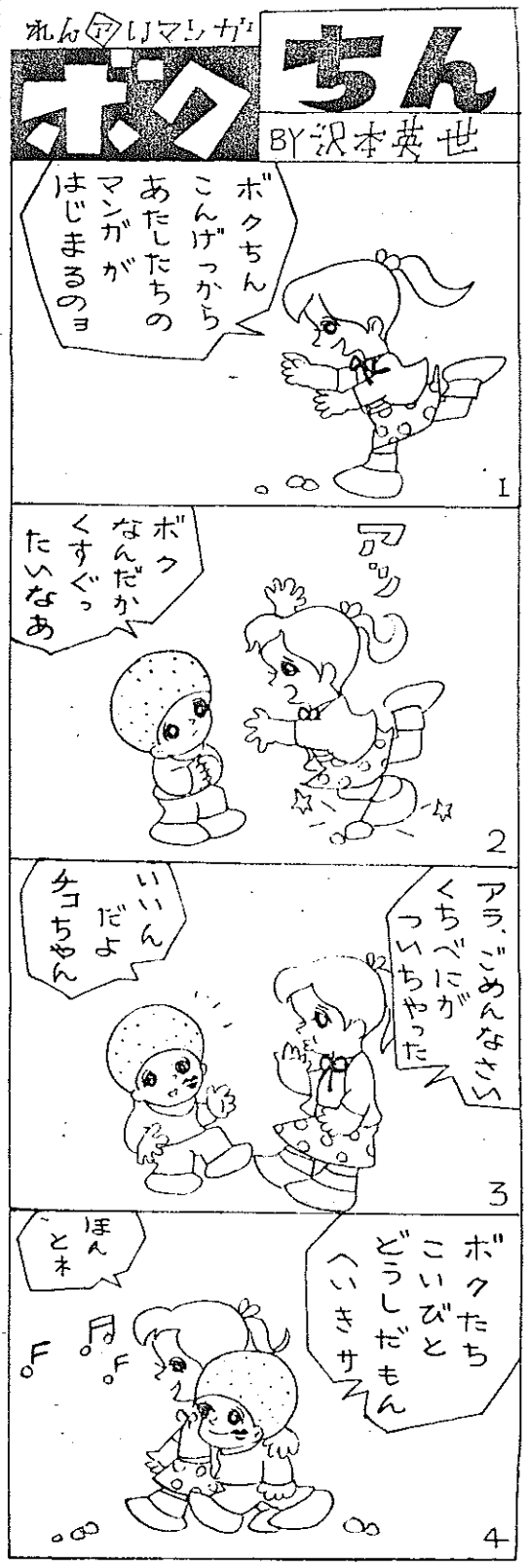
（広報委員会）

...おことわり...

各方面からのご寄稿のうち紙面のつごうで次号に回したものがあります。

ご了承下さい。

（広報委員会）



全国都市フォト・コンテスト

主催 全国市長会
後援 富士写真フイルム株式会社

現在日本の都市の総数は五五五市に達しております。これらの都市の半数は戦後新たに生れた市でありますため、その市名すら国民の耳に親しみの薄いものがあります。古くからある都市はいうまでもなく、これら中小都市もそれぞれ誇るべき歴史、文化、風景、産業をもち、また特色ある風俗習慣を伝えると共に、よりよき生活を営むため都市建設に努力しております。これら五五五の市を紹介するための写真作品を募集いたします。

題材 は自由ですが、対象は市域内に限り、各都市の特色を表現したもの。

作品 は黒白・カラーいずれでも結構ですがモノクロームの場合は四ツ切以上の引伸しに限ります。作品には一枚ごとに簡単な説明、撮影場所、撮影日時、住所、氏名を添えて下さい。

応募資格 には制限はありませんが、自己未発表作品に限ります。

入選作品 の著作権は本会に属し、ネガは御提出いただき、本会発行の刊行物、関係展示物に使用することがあります。なお落選の写真は返送いたしませんが特に返送御希望の方はその旨お申しこし下さい。

審査 には木村伊兵衛氏、名取洋之助氏、島田謙介氏、富士写真フイルム宣伝部長平松太郎氏、全国市長会事務局長が当ります。

締切 昭和三五年九月一五日

送り先 東京都千代田区九段一の一四

発表 全国市長会「フォトコンテスト」係「市政」一〇月号誌上。なお、入選者には直接御通知いたします。

賞 特選 二点 全国市長会会長賞（高級置時計）副賞三万円

一等 二点 賞品（高級大型革鞄）副賞一万円

二等 一〇点 賞品（高級万年筆）副賞五千円

佳作 一〇〇点 賞状及び記念品

岩俳句会抄

堤無限寒満月はひとりのもの　池 植章
風切れて土佐湾の波ひだに入る　大畠案山子
日輪の響さて落つる冬の海　溝淵由紀男
寒月光川は音たてず野を貫く　池 さち
空港のライト間切り寒波きる　島崎 洸一
輪血終る鳴咽も夜も冴ゆるなり　甲藤黒老三
初蝶に試歩の仔牛が導かる　西本かよ子
眼手術帰ににぎり笑む寒卵　和田ひでみ
臥せし児の知らぬ冬虹今かゝる　久保田令甫
春光のとゞかぬ仏ほとけたち　松村 泉庭
寒い山鳴少年の貌獣めく　和田 幸郎
バス除ける学童氷柱の崖に添う　大畠 新草
水ぬるみ心のなごみとりもどす　小川志津子
夕餉つげる母の声くる青き踏み　甲藤 悦子

春日局

松村義正

岡豊城下で育った

局の本名はお福といゝ、美濃の豪族斎藤利三の娘で、美濃で生れたが、四才の時から成人するまで、岡豊城下で育つた。

天正十年六月二日織田信長が刺された本能寺の辺に、お福の父斎藤利三は明智光秀の謀叛にくみしたつみで秀吉に捕殺された。その後秀吉は、明智の残党を探し出し残らず殺害。そのため利三の子女は、諸方に逃げお福（当時四才）は家来にたすけられ、ひそかに岡豊城にいる叔母（元親の妻で利三の妹）を頼つてきた。

当時元親は秀吉を敵として いたときで、お福が隠れ住むにはつごうがよかつた。こうしてお福は岡豊で成人し、のち母方の伯父稲葉重通の養女となり、その一族の稲葉正成（小早川の家老で二万石）の妻となつた。

正成との間に三男一女をもうけたがどうしたわけか正成は家老職をやめて浪々の身となり夫婦は離別してお福はひとり身となつた。

慶長九年二代将軍秀忠の長子竹千代（のちの家光）が江戸で生れ、その乳母を京方面から求めたとき、お福はこれに応じて名乗り出で乳母となることができ、名を春日の局と改め、従三位に叙せられた。ときに二十六才。

江戸城の大奥に入つて竹千代養育の大任はいばらのみちであつた。とくに三代将軍の継嗣問題では力を尽した。それは竹千代三才のおり弟の国千代（のちの忠長）が生れたことから端を発したものである。

国千代は別の乳母により育てられたが、同腹の兄弟でありながら二人の性格は正反対で、兄は応揚寡言で万事こせつかないが因循であり、弟は底力がないが、才知があふれた気転のきく口達者な、人好きのする愛嬌者であつた。

それで自然と城内の人達は国千代を〝兄様勝り〟とほめたてた。その上二代将軍秀忠夫婦（秀忠の妻は淀君の妹）も国千代を偏愛してひそかに「国千代を世継に」と思うようになつていた。これが竹千代を養育している局にとつては心中大きな障害となつていた。

忍びかねた局は遂に駿府にいる大御所家康に訴えた。家康はこれをきいて江戸にかえり、兄と弟の区別を説き、国千代にもよく言いきかせ、秀忠夫婦をもいましめたので、秀忠もおのれのおろかさをさとり、世嗣は竹千代と定めた。

これで局は安心し竹千代の教育に力を注いだ甲斐あつて、竹千代に対する信用は年とともに加わり元和九年二十才のおり、三代将軍家光となつた。

家光が将軍となつてから、局は大奥の取締役となつた。

一方夫であつた稲葉正成は、江戸に召され一度は「旧妻のお蔭で出世はしたくない」と辞退したが、越後糸魚川二万石に取り立てられた。

局との間に生れた正勝、正定、正則もみな取り立てられ、一女は堀田正利に嫁し、その孫（局の曾孫）堀田正俊は登用され大老職ともなつた。

このように稲葉家一族が立派に栄えたのをみても、局の勢力をうかがい知れよう。

将軍家光も経母にひとしい局の恩を忘れず、厚くもちい、局の意見はよく聞いた。

寛永二十年九月十六日、六十五才で没したとき、家光は局の喪に、鳴物を禁じたが、このように一乳母のため将軍が喪にふくしたことは例をみないことであつた。

なお生前従二位に叙せられ天杯と緋の袴を賜わわつている。

（原稿は都合上委員会で書き改めました。筆者のご了承をねがいます。）